

コーエイ総合研究所



モロッコの教員ワークショップ
(中央が寺岡さん)



金融・行政管理部
寺岡 亮輔さん
(33歳)
Teraoka Ryosuke

Check

福利厚生が充実、4割占める女性も活躍

「創造的な知的サービスの提供」を理念に掲げ、開発途上国の経済・社会開発に取り組んでいるコーエイ総合研究所。最近ではインドネシアの中小企業支援、ガーナやマラウイなどアフリカの公共財政管理、モロッコの就学率向上プロジェクトなど、幅広い分野のプロジェクトに取り組んでいる。

業界最大手である日本工営のグループ会社として、福利厚生が充実しており、ワークライフバランスにも配慮するなど、働きやすい環境が整っているのも大きな強み。社員の4割強は女性で、中には子育てをしながら海外を飛び回る人もいる。

コーエイ総研では、年1回新卒採用を実施するほか、中途採用も随時募集している。新入社員はどのプロジェクトでも必要とされるスキルを習得するため、入社後1~2年ほど事務部門で総務、経理、受注した業務の運営補助などを経験する。

新卒・中途ともにTOEIC860点以上の英語力、

基本的なパソコンスキル、およびグローバルな視点と未来への洞察力を持って開発課題を把握し、積極的に課題解決の提案・実行ができる能力が求められる。中途採用の場合は、コンサルティング企業、シンクタンク、または援助機関での業務経験もあることが望ましい。



company data

株式会社コーエイ総合研究所
KRI International Corporation
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-2 麹町4丁目共同ビル8F
設立: 1995年7月 資本金: 8,400万円
従業員数: 84人(2016年4月末現在)
代表者: 代表取締役社長 神山雅之
事業分野: 産業開発・中小企業新興、貿易・投資促進、民活インフラ・ファイナンス、ガバナンス、地域開発(都市・農村・コミュニティ)、保健、教育・産業人材開発、評価など

recruitment

新卒採用: あり 中途採用: あり
募集職種: 経済、産業、保健・医療などの開発コンサルタント、プロジェクトマネージャー
TEL: 03-3288-1161(代)
E-mail: personnel.kri@kri-inter.co.jp
URL: http://www.kri-inter.co.jp

Career Path

- Age 22 立命館大学法学部(政治行政専攻)を卒業後、インドでボランティア活動およびJEN(NGO)でインターンシップ
- 24 青年海外協力隊員としてモロッコに派遣され、少年院(職業訓練校を兼ねる)で教育関連事業に従事
- 26 英イーストアングリア大学大学院(国際開発学部教育開発学科)に留学
- 27 英系コンサルタント会社に入社、南米・アフリカなどでプロジェクト監理・調達業務などに従事
- 31 コーエイ総合研究所に入社

上国では雇用の機会が少ないことで、子どもたちが成長した後、家族を養うとともに、自分の能力を生かして十分な賃金を得られるようにするため、教育と行政の両分野からアプローチ

ローチする必要があると考えています。教育分野にかかわるなら、まず何よりも自分自身が楽しむようにすることが第一です。それが子どもたちの笑顔につながるからです。

教育通じて子どもたちの未来開く

生時代から開発途上国の教育・政治行政問題に関心があり、当社で金融・行政管理部に所属しながら、現在はモロッコで教育専門コンサルタント業務を行っています。

モロッコとの関係は、約10年前の青年海外協力隊の経験から始まっています。大学卒業後、インドの孤児院でボランティア活動およびJEN(NGO)でインターンシップを経験した後、24歳で協力隊に参加し、モロッコの職業訓練所を兼ねた少年院に派遣されました。社会的に恵まれず、貧しさから罪を犯した子どもたちを更生させるため、私は「外の世界に触れること」に着目し、国籍を問わず作家や音楽家など様々なバックグラウンドを持つ人々を施設に招いて交流を図りました。その結果、子どもたちに笑顔が増えただけでなく、作家のひとりが著作で少年院の現状を広く紹介し、約100万円の印税を寄付してくれました。こうした活動を通じて、国際協力には「短期・中期・長期的な視点からの問題解決能力」マクロ

ミクロ双方の視点からの分析能力、そして「ロジカルコミュニケーション能力突破力」という3つの要素が欠かせないと感じました。

31歳で当社に転職し、ガーナの食糧農業省における財務管理改善プロジェクトに1年半ほど携わった後、モロッコで小中学生の学力向上のためのプロジェクトに参画しました。子どもたちを学校に通わせるため、教育の意義を子どもたち、その親たち、そして地域社会に理解してもらい、現地に根付かせることが肝心です。そこで、私はプロジェクト対象となっている学校を主体に、学級文庫の創設、演劇発表、スポーツ大会などのイベントを企画すると同時に、子どもたちが楽しむ姿を見てもらう授業参観を催して保護者を啓発するなど、親子がともに教育に関心を持つよう工夫するための手助けをしています。

これまでの経験を踏まえて、私は途上国の教育開発と行政という2つの分野で専門性を深めたいと考えています。現場で気になっているのは、途

上国での経験を通じて、私は途上国の教育開発と行政という2つの分野で専門性を深めたいと考えています。現場で気になっているのは、途